報道関係者各位

2026 年 10 月 27 日

株式会社ステラーグリーン

森林カーボンクレジットから始まる、「守る」から「育て、伝える」森林保全へ

～箱根・湯河原・相模原で植林・森林整備・環境啓発を推進～

森林カーボンクレジット創出の支援事業を展開する株式会社ステラーグリーン（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：中村 彰徳、以下「ステラーグリーン」）は、株式会社西湘フォレスト（代表取締役：佐藤 克寿、以下「西湘フォレスト」）、株式会社森林再生システム（代表取締役社長：速水 亨、以下「森林再生システム」）の 3 社によるパートナーシップ契約に基づき申請した「カーボンニュートラルの実現に向けた箱根・湯河原・相模原の森林管理プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）が、2026 年 1 月 5 日に J-クレジット制度のプロジェクト登録の認証を受けました。

これを契機に、本プロジェクトの山林所有者である富士急行株式会社（代表取締役社長：堀内 光一郎、以下「富士急行」）および野口観光株式会社（代表取締役社長：野口 和秀、以下「野口観光」）とともに、「守る」から「育て、伝える」森林保全に向けて、森林整備の実践と環境啓発をさらに推進することで合意しました。



※画像はイメージです

各社は今回の認証を森林保全の一つの到達点ではなく、さらなる活動の出発点と位置づけています。今後は、植林や森林整備、従業員参加型の森林保全活動を進めるとともに、水源涵養や生物多様性保全など森林が持つ多面的な価値についても積極的に発信し、森林を「守る」だけでなく、「育て、伝える」取り組みへと発展させていきます。

■J-クレジット制度のプロジェクト認証を、さらなる森林保全の出発点に

本プロジェクトの森林所有者である富士急行と野口観光は、認証以前から、それぞれの所有林について森林の維持と管理に取り組んできました。本プロジェクトでは、これまでの森林管理を基礎として、森林の成長に伴う CO_2吸収量を継続的に算定・モニタリングし、その成果を J-クレジットとして価値化していきます。

各社は、森林保全の成果を客観的に確認できるようになったことを、さらなる活動につなげる契機と捉えています。今後は、これまで続けてきた森林管理に加え、植林や森林整備など森林を育てる活動をさらに進め、その意義や成果を広く社会へ発信していきます。

■CO_2吸収だけではない、森林が持つ多面的な価値

森林は CO_2の吸収源であるだけでなく、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源涵養など、さまざまな機能を有しています。林野庁では、これらを森林の「多面的機能」と位置付けており、私たちの生活や社会・経済活動を支える重要な基盤であるとしています※1。特に水源涵養については、森林土壌が持つ洪水緩和、水資源の貯留、水量調節、水質浄化などの機能が期待されており、ステラーグリーンではその価値の可視化に向けた実証事業にも取り組んでいます※2。

本プロジェクトでは、CO_2吸収量という環境価値にとどまらず、水源涵養や生物多様性保全など森林が持つ多面的な価値にも目を向け、森林を将来世代へ引き継ぐための活動につなげていきます。

※1 林野庁「森林と生物多様性」、林野庁「森林・林業基本計画」、林野庁「森林の有する多面的機能に関する企業の自然関連財務情報開示に向けた手引き」

※2 高尾 100 年の森プロジェクトにおける実証事業　ステラーグリーン、佐川急便、Water Scape が連携～森林モニタリングに衛星データと AI 活用及び水源涵養の可視化～　https://www.stellargreen.co.jp/press-release/takao/

■西湘フォレスト代表よりコメント

株式会社西湘フォレスト 代表取締役　佐藤 克寿

私たちは神奈川県西湘地域で林業を営んでいます。神奈川県の林業は木材生産だけでなく、地域の水源を守る役割があります。最近は豪雨などの異常気象が増え、林業の現場でも地球温暖化の影響を感じることが多くなりました。私たちの営みが森林に CO_2を蓄積し、それが今回の J-クレジットを通じて価値として示されることはありがたいことです。引き続き地球温暖化の防止に向けて、少しでも役立てれば幸いです。

■森林再生システム代表よりコメント

株式会社森林再生システム 代表取締役社長　速水 亨

森林は木材生産以外に多くの機能と価値を持っています。私たちは科学的知見と現場経験で、森林経営の説明責任を果たすことを追求してきました。CO_2クレジットが始まり、森林は自然資本から社会資本へと変化しています。これを機に各社と共に森林の多面的な機能を受益者の適切な負担を実現させながら、持続可能な森林経営の実現につなげます。

■富士急行代表よりコメント

富士急行株式会社 代表取締役社長　堀内 光一郎

富士急グループは 2026 年 9 月に創業 100 周年を迎えました。その歩みは、富士山麓の溶岩原に土を盛り、木を植え、自然とともに地域の価値を育んできた歴史そのものです。その精神は今もグループ全体に深く根付き、さがみ湖 MORI MORI でも西湘フォレスト様とのご縁をいただきながら森林再生に取り組んでまいりました。当社初となる森林 J-クレジット認証は、未来の子どもたちへ豊かな森を引き継ぎ、遊び学び続けられる環境を育む第一歩であると考えています。

■野口観光代表よりコメント

野口観光株式会社 代表取締役社長　野口 和秀

私たちはこれまで、地産地消を大切にした食の提供や食品ロス削減など、地域や環境に配慮した取り組みを重ねてきました。今回の J-クレジット認証を新たな出発点として、各社と協力しながら森林を守り育て、水源涵養や生物多様性など、その多面的な価値を未来へつないでまいります。

■ステラーグリーン代表よりコメント

株式会社ステラーグリーン 代表取締役社長 兼 CEO　中村 彰徳

森林を守り育ててこられた皆さまの取り組みに、深く敬意を表します。今回の認証を出発点に、J-クレジットの創出・販売を通じて環境価値を企業の脱炭素につなぎ、収益が森林保全へ還元される仕組みを育ててまいります。各社とともに森林の豊かな価値を社会に伝え、次世代へ森を引き継ぐ活動を支えていきます。

■株式会社ステラーグリーンについて

ステラーグリーンは「自然の価値に、輝く道を。」を経営理念に、生物多様性を保全しつつ、最新のテクノロジーを活用して地域の自然資源を価値あるものに変換することで、持続可能な地域社会の構築を実現することを目指しています。

ステラーグリーンは森林カーボンクレジットの生成から販売まで、成功報酬型のワンストップサービスを提供しています。また、専門性が求められる森林データの収集や申請書作成にも対応しており、環境価値を経済価値に変えるプロセスを多角的にサポートします。

株式会社ステラーグリーン：https://www.stellargreen.co.jp

- プレスリリースに掲載されている会社名、サービス名などは各社の登録商標または商標です。
- プレスリリースに掲載されている内容、サービス、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

＜本件に関する報道関係者からの問い合わせ先＞

SB プレイヤーズ株式会社　広報担当　滝石・赤塚・水橋

TEL：03-6262-6092 / FAX：03-6262-6084